

「徳島県企業局経営計画の令和3年度進捗状況及び評価」について

1. 企業局経営計画の評価

「企業局経営計画」：平成29年度を初年度とする10年間

【手順】→「戦略的経営推進委員会（8月4日）」に報告、意見の聴取
→議会報告（9月事前委員会）、閉会后企業局HPで公表

【令和3年度評価案】

(再掲除く)

項目数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
51	43(84%)	7(14%)	1(2%)	0(0%)

2. 令和3年度の実績

(1) 順調または妥当（主なA評価）

経営目標1 「社会貢献の加速」

○スマート回廊を核とした地域振興

- ・地域の観光資源を活用したニューツーリズムの創出

【KPI：地域と連携したツーリズム実施数5回以上/年】

→ R3 「自然エネルギー探検隊バスツアー」や施設見学会等、14回実施

○森づくりの支援

- ・ダム水源地での地域が進める森づくりを支援

【KPI：公有林化支援面積（累計）R3 782ha】

→ R3 170haの公有林化取得を支援し、累計 842ha

経営目標2 「安全安心の確保」

○南海トラフ巨大地震対策の加速

- ・工業用水道管路の耐震化

【KPI：緊急性の高い管路 8.4km整備 R3 90%】

→ R3 8.3kmの整備が完了、進捗率 99%

○「企業局のスマート化」の推進

- ・設備の保守管理等にAI、ロボットなどの革新技術を実装・活用

【KPI：産学官との連携等で培ったノウハウを活かしたドローンの活用】

→ R3 水中ドローンによる施設点検、固定カメラ、ウェアラブルカメラの導入

経営目標3 「経営力の強化」

○企業局の新たな広報・PRの取組

- ・新たな時代に即した戦略的な広報・PRを通じた企業局事業への理解の促進

【KPI：PR動画やエコバッグ等の制作・活用】

→ R3 「徳島県企業局PR動画～自然をチカラに～」を制作、各所で公開

○日野谷発電所の発電能力の最大限活用

- ・最大取水量の弾力的運用による発電能力の最大限活用

【KPI：最大取水量の弾力的運用 R3 運用】

→ R3 出水時、弾力的運用を9回実施し、発電電力量約69万kWhの増加

(2) 概ね順調または概ね妥当 (B評価 7項目)

※KPIの数値目標が8割以上であったもの

経営目標1 「社会貢献の加速」

○市町村等における小水力発電の事業化の支援

- ・小水力発電の市町村等へのプッシュ式導入支援

【 KPI : 市町村等による事業化 R3 技術支援 】

→ R3 事業化に向けた実施計画を提案しているが、現時点で事業化に至らず

○地域振興の事業支援

- ・水源地域で実施する地域の魅力づくり等を支援

【 KPI : 15団体以上/年 】

コロナ

→ R3 「ダム水源地サポート事業」により13団体を支援

○県民理解の促進

- ・川口エネ・ミューを活用した見学会等の実施

【 KPI : 川口エネ・ミュー年間延べ体験者数 R3 18,100人以上/年 】

コロナ

→ R3 一時休館やイベント中止により入館者数は大幅に減少したが、ニューノーマルに対応したICT授業等を実施、体験者数 17,383人

経営目標3 「経営力の強化」

○未売水の低減対策

- ・受水企業訪問

コロナ

【 KPI : 15社以上/年 】

→ R3 全ユーザーにアンケート調査を行うとともに、13社に企業訪問等実施

- ・新規需要の開拓等による契約水量の増大

【 KPI : 契約有収率 R3 75% 】

→ R3 74%と目標値に未達であったが、前年より1% (1,900m³/日) 増加

○リース契約地の売却

- ・契約企業への営業活動、他部局連携

【 KPI : 企業訪問による状況調査 】

→ R3 契約企業を始め誘致企業などと幅広く情報交換を実施

○顧客・利用者のニーズ調査

- ・利便性向上、利用者ニーズ把握に係る駐車場利用者へのアンケート調査

【 KPI : 1,000人以上/年 】

コロナ

→ R3 コロナの影響を受け、近隣でのイベントが減少、980人

(3) 要努力 (C評価 1項目)

※KPIの数値目標が8割未満であったもの

経営目標3 「経営力の強化」

○駐車場利用台数の確保

- ・駐車場利用者の利便性等を図り、利用台数を確保

コロナ

【 KPI : 20万台以上/年 】

→ R3 コロナの影響を受け大幅に減少、利用台数 124,051台